

三郷市議会議員 文教経済常任委員長

# あいざわ 圭一郎 けいいちろう

地域だよりの

Vol.21 H.27.01.01

39歳 走り続ける情熱男！

## 新春のお慶びを申し上げます

●2015年の新春を迎え、市民の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。旧年中は公私に渡り格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

●昨年末の第47回衆議院議員総選挙におきましては、安倍総理が主導する経済政策、アベノミクスを問う選挙でありました。低投票率でありましたが、2年間の実績を活かし、地方に実感が届く景気回復を加速させるためには「この道しかない」と強く訴えた自由民主党が勝利をしました。

●2015年10月に10%に引上げられるはずだった消費税が、1年半先送りされ、2017年4月となりました。社会保障と税の一体改革はこれからの日本に必要なことではありますが、これから2年半の間に増税に耐えうる確実な経済復興を成し遂げて頂きたいと願うところです。

●埼玉14区からは三ッ林ひろみ氏及び鈴木よしひろ氏が前回に引続きご当選されました。また、10月に行われました三郷市長選挙においては、現職の木津市長が無投票3選となりました。それぞれ、ご活躍に期待致します。

### ●衆議院埼玉県第14選挙 結果 (敬称略)

当落	名前	政党		得票総数	市内得票
当選	三ッ林ひろみ	自民党	前	96,511	18,319
比例当選	鈴木よしひろ	維新の党	前	73,320	25,083
	苗村みつお	共産党	新	33,103	8,204

三郷市内投票者総数 53,284 投票率 48.29% 前回(54.01%)

### ●衆議院比例代表 結果(三郷市内)

政党	得票	政党	得票
自民党	14,335	生活の党	1,336
民主党	5,809	共産党	7,159

### 平成26年12月定例会及び第2回臨時会の主な概要(抜粋)

#### ●三郷市副市長の定数を定める条例の一部改正

副市長の定数を1人から2人に変更

今後の三郷市において、流山新橋の設置、都市軸道路の整備、北公民館の建替え、外環自動車道三郷第二ICの設置、スマートICの大型車通行、上口調節池の有効活用等、国の補助金を必要とするものが多く、早期実現のためスピード感を持って対応出来るよう、国等の人材を考えている。

原案可決(賛成多数)

#### ●職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき国家公務員との権衡を考慮し、一般職職員の給料月額、通勤手当、及び勤勉手当の支給月数の改定。

原案可決(賛成全員)

#### ●市長副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部改正

一般職職員の勤勉手当支給月数改定との権衡を考慮し期末手当支給月数を0.15増とする。

原案可決(賛成多数)

#### ●議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

人事院による公務員給与の引上げ勧告に鑑み、期末手当支給月数を0.15増とする。

原案可決(賛成多数)

#### ●一般会計補正予算

・こども医療費支給事業 6,000万円

対象人口の増加により増額

・小中学校空調設備整備事業 2,400万円

八木郷小、前谷小、栄中、前川中、早稲田中、瑞穂中

に対する設計予算。平成28年度中に、市内全小中学校にエアコンが設置される予定です。

原案可決(賛成全員)

#### ●人事案件…公平委員会委員の選任

阿部正博氏の選任に同意。ご活躍に期待致します。

逢澤圭一郎と地域をよくする会 <http://www.aizawa-k16.com> office@aizawa-k16.com

341-0018 三郷市早稲田2-10-7 Tel 957-8462 Fax 957-8465  
 会長 竹本裕司 副会長 稲垣栄 谷古宇勇 幹事長 濱口総 副幹事長 佐藤行義 事務局長 石山義男 顧問 井上貞夫  
 世話人 吉岡貞義(代表) 葉室和男 高濱國治 齋藤博之 杉橋重一 松川文雄 西山忠雄 白石政則 吉岡良男  
 逢澤圭一郎と地域をよくする会(後援会)にご入会ください！年会費等は一切かかりません。

## 一般質問

### ◆獨協医科大学と包括協定を結ぶことについて

★平成24年4月に彦糸小学校及び北郷小学校が統合し、北郷小学校の跡地については来年度から獨協医科大学付属看護専門学校として新しくスタートすることとなりました。

★これまで北郷小学校の統合及び跡地活用についての質問は幾度かさせて頂きました。看護学校であるのなら、地域との関わりを深く持って頂き、地域に根差した学校となるよう災害時の救護や避難所としての活用、市民参加型の講座の開催、休日の校庭の使用等、交渉をして頂きたく要望を致しました。

★平成25年3月には基本協定が締結され、地域への貢献等ということで要望させて頂いた項目について学校法人獨協学園側に合意をして頂くことが出来ました。開校まであと3ヵ月強となりましたが、ここで基本協定とは別に本市と大学との連携協力に関する包括協定を結ぶことが必要と考えます。

### ○近隣自治体の包括協定締結状況

★八潮市…聖徳大学及び聖徳短期大学

包括協定を締結した聖徳大学を含む5大学と連携し、八潮子ども夢大学という事業を展開しております。子どもたちが、学習に対する興味や関心を持つために、各大学に出向き、様々な分野で特色のある授業を体験できるといったものです。

★越谷市…埼玉県立大学及び文教大学

女性の健康講座、市民健康教室、更年期教室、生活習慣病講座といった健康講座から、子育て応援、子ども大学、放課後子ども教室のボランティア、高齢者福祉といったことや、あるいは、実習生やインターンシップ・エクスターンシップを受入れたり幅広く事業を展開しております。

★草加市…獨協大学

大学公開講座や地域共同研究プロジェクトの実施、産業・学校・行政の連携推進事業・まちづくり協議等を展開しております。

★それぞれ協働のまちづくりを推進することで、地域の発展、知的財産の交換、人材の育成、相互交流の活性化等を期待するもので、広範な分野で協力体制を築いております。

★本市におきましても、子どもから高齢者の方までそれぞれの世代に応じた健康講座の開催や、児童・生徒の体験入学、また、地域医療や介護分野において実習生を受け入れるなど、発展的事業が行えるよう、広範な分野で協力関係を築いていくことが本市の発展に繋がると考えます。包括協定の締結についてお考えをお聞かせください。

●答弁(市長・企画総務部長)

看護師等の人材育成やまちづくりに関する様々な施策の推進など、幅広い分野において両者が協力することで、地域社会の発展に寄与するものと認識しています。平成27年度には、同大学との協定が締結できよう準備を進めていきます。

### ◆小学校における統合の今後の見通しについて

★本市の人口は12月1日現在で136,863人と伸びている状況であります。これは、ピアラシティや三郷中央地区、ららシティのまちづくりによるものが大きなウェイトを占めていると思われます。そういったことから、今後においても三郷中央地区や新三郷駅付近への転入というのが主ではないかと推測しております。

★本市においてこれから開発が行われる予定は、住居系ではなく産業立地であるため、児童数の増加が一定の地区、特定の学校に偏る可能性が大きいことになり、今、仮に小規模校である学校については、さほど状況が変化しないか、少子化の影響で更に減少していくことが想定される場所です。

★文部科学省において標準学級とされる12学級に満たない学校も見受けられます。現時点において児童数がすくない特に顕著な所については元より、今後の推移も予測しながら統合を検討していく時期と考えます。

★もちろん統合は簡単に出来ることではありません。通っている児童、保護者、地域の皆様等多くの方のご理解が不可欠なものではありますが、何よりも児童の教育環境向上を第一に進めていくべきものと考えます。今後の見通しについてお伺い致します。

●答弁(教育長)

学校は子どもが仲間と共に学び、社会を支えていくために必要な知恵や人間力を確実に身につけさせる場所です。学習活動や学校運営の教育効果を高め、活性化するには一定の児童数・学級数の確保が必要であると考えています。学校の統合により、望ましい人間関係の構築や学校行事を創り上げるなど、教育を活性化する効果があります。今後は教育の観点から検証を行い、必要な地域については学校統合計画を策定し計画を進めてまいります。

### ◆広告料収入を主体としたデジタルサイネージの設置について

★デジタルサイネージとは簡単に言えば電子看板です。秋葉原や、新宿のアルタにあるビルの壁面の大型ビジョンは有名なところですが。

★流山市では広告代理店が運営をしており、5年間の契約で設置・運営・初期投資・電気料金・保守点検も広告代理店がもつものとし、更には5年間で1,000万円を市の方に支払って頂く条件の下事業を行っているそうです。市の方は設置場所を提供し、行政情報がある程度流してもらう中で対価を頂くといったことで、リスクはない状況で運営されております。

★ららシティやピアラシティに買い物に来る市外の方々をそこだけで留まらせず、市内に循環してもらうこと、また、市内在住の方々も自分の住んでいる地域だけでなく、他の地域に足を向けて頂くこと、行ってみたい、行ってみようという気持ちにさせることが地域振興、産業振興に繋がると考えます。市の負担がなく、PR活動が出来る方法があるのですから、事業展開してみたいかでしょうか。

●答弁(市長・企画総務部長)

ご提案頂きましたデジタルサイネージは、三郷市の様々な魅力や出来事を多くの皆様に発信する手法として、大変意義のあるものと認識しています。コストを広告料で賄うことが出来れば媒体として活用が考えられます。今後、導入にあたっての先進地の状況や民間事業者の参入状況などを把握しながら検